

■滋野貞主 文人官僚。日本最古の百科事典「秘府略」編など才能を発揮、皆に慕われ、承和の変直後に公卿・参議になった。
しげのさだぬし
藤原種継暗殺 785＝ 貴族滋野家訳の子に生まれる。

平安京遷都・ 794＝ 9歳：

身長が六尺二寸の長身。元来度量があった。生まれつき思いやりがあり情け深い性格で、話をする際に人を傷つけることのないよう気遣いがあった。

・・・・・・・・ 803＝18歳：

桓武天皇没・ 806＝21歳：
伊予親王の変 807＝22歳：文章生に及第，

漢学の素養に優れていたことから，
薬子の変・ 810＝25歳：
・・・・・・・・ 811＝26歳：少内記となり，官界入り。
・・・・・・・・ 812＝27歳：

・・・・・・・・ 815＝30歳：大内記に昇る。

弘仁格施行・ 820＝35歳：外従五位下，兼因幡介，
冬嗣右大臣・ 821＝36歳：従五位下，図書頭に叙任されて，頭角を現すようになり，

嵯峨上皇・ 823＝38歳：*皇太子正良親王の東宮学士に任ぜられ，父家訳とともに宿禰姓から朝臣姓に改姓。

経国集・ 827＝42歳：漢詩集「経国集」20巻の編集に参画，

・・・・・・・・ 829＝44歳：従五位上に昇叙。
・・・・・・・・ 830＝45歳：
・・・・・・・・ 831＝46歳：*勅命により，古今の文書を分類した日本最古の百科事典「秘府略」1000巻(現存2巻)を撰集し，
「博覧の碩儒」と評される。

・・・・・・・・ 833＝48歳：正良親王の仁明天皇即位に伴い，正五位上と二階級の加叙を受け，
・・・・・・・・ 834＝49歳：従四位下，相模守，

空海没・ 835＝50歳：兵部大輔，
長女の縄子は非常に穏やかな性格で立ち居振る舞いも整っていたことから，仁明天皇の女御として殊に寵愛を受けて，本康親王・時子内親王・柔子内親王の3皇子女を産んでいる。

最後の遣唐使 838＝53歳：弾正大弼，
遣唐使帰国終 839＝54歳：従四位上，大和守，
・・・・・・・・ 840＝55歳：大蔵卿，
・・・・・・・・ 841＝56歳：讃岐守兼任

承和の変・ 842＝57歳：*式部大輔へと順調に昇進，承和の変後，参議に任ぜられて公卿に列した。
この間，人々を推挙してその能力に応じて引き上げたという。また，仏教に深く帰依して，
・・・・・・・・ 844＝59歳：私邸捨てて伽藍とし慈恩寺と命名。式部大輔辞任を申し出るも許されず，座禅の合間に方々を巡り歩き，
人々に慕われたという。
・・・・・・・・ 845＝60歳：「便宜十四事」を陳述，
下の娘の奥子は容姿に優れて，文德天皇の寵愛を受けるところとなり，

俘囚反乱始・ 848＝63歳：
・・・・・・・・ 849＝64歳：尾張守を兼ね，次いで宮内卿に遷任。大宰府の官僚の腐敗を聞いて黙視できず，弾劾する文を上表，
文德天皇即位 850＝65歳：文德天皇の即位に伴い正四位下に叙せられ，相模守を兼ねる。奥子が惟彦親王を出産，

・・・・・・・・ 852＝67歳：*口吻に毒瘡を病み，詔により医薬を賜与されるが，葬儀は質素に行うようにとの遺戒を残して，まもなく慈恩寺西書院で没する。その死が伝わると哀惜しない者はなかったと伝えられる。